

平成27年度 沖縄県高等学校総合体育大会

第42回沖縄県高等学校空手道競技大会実施要項

主催 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会
後援 公益財団法人沖縄県体育協会
協賛 NHK沖縄放送局・琉球新報社・沖縄タイムス社・株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社・琉球放送株式会社・琉球朝日放送株式会社
主管 沖縄県高等学校体育連盟空手道競技専門部・沖縄県空手道連盟

- 期日**
 - (1) 開会式 平成27年5月29日(金) 14:00開始
 - (2) 競技 平成27年5月30日(土)～6月1日(月)
- 会場**
 - (1) 開会式 沖縄県総合運動公園 陸上競技場
 - (2) 競技 美里工業高等学校体育館
- 競技規定** 全国高等学校体育連盟空手道競技規定及び申し合わせ事項による。
- 競技方法**
 - (1) 団体組手、個人組手ともトーナメント方式とする。(但し団体組手のベスト4はリーグ戦を行う)
 - (2) 組手の試合時間は2分で8ポイント差が生じた場合、または時間終了時のポイント数で勝敗を決す。
 - (3) 形試合について
 - ① 団体形は得点制(予選・決勝)で行い、予選は第1指定形、決勝は得意形とする。
 - ② 個人形の予選は得点制で行い、第1指定形とする。決勝はフラッグ制のトーナメント方式で行い、1・2回戦は第2指定形、準決勝・決勝は得意形とする。(準決勝・決勝の得意形は同じ形でも異なる形でもよい)
- 競技種目 (男女共通)**
 - (1) 団体形
 - (2) 個人形
 - (3) 団体組手
 - (4) 個人組手
- 参加資格**
 - (1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
 - (2) 平成27年度沖縄県空手道連盟に登録済みの者であること。
 - (3) 平成8年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け在学する学校長の承認を必要とする。
 - (6) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等やむを得ない事情の場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りではない。
 - (7) その他の事項については、全国高校総体実施要項及び全九州高校体育大会実施要項に準ずる。
 - (8) 参加資格の特例
上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(7)の大会参加資格を満たし、かつ大会参加資格の別途に定める規程に該当する生徒の大会参加を認める。
- 引率・監督について**
 - (1) 引率責任者は、団体・個人ともに校長の認める当該校の職員とする。
 - (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 参加制限**
 - (1) 団体戦 1校男女各1チームとし、監督、コーチ、マネージャー、各1名とする。
組手は男女各5名、補欠2名、形は男女3名、補欠3名とする。
 - (2) 個人戦 組手は男女各8名、形は男女各4名以内とする。
 - (3) 外国人留学生の参加については(団体)正選手の過半数を超えない範囲で認める。
- 参加申し込み**
 - (1) 申し込み方法
(ア) 参加者は、選手団を編成し所定の用紙に必要事項を記入のうえ申し込むこと。
(イ) 申し込み用紙を2部作成し、期日までに申し込むこと。電話による申し込みは受け付けない。
 - (2) 申し込み先 〒900-0029 那覇市旭町112-18(沖縄県旭町会館2階)
沖縄県高等学校体育連盟会長 宛
 - (3) 申し込み締切 平成27年5月8日(金) 12:00必着(締切り時間後は受け付けない)
- 抽選会及び代表者会議** 平成27年5月11日(月) 14:00 普天間高校(生徒代表同伴のこと)
- 表彰** 総合優勝校には賞状・優勝旗、2～3位校には賞状を授与する。
団体優勝には賞状・メダルを、2～3位校には賞状を授与する。
個人優勝、2位、3位には賞状を授与する。
- 連絡事項**
 - (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱います。
 - (2) 引率責任者のいない学校の出場は認めない。
 - (3) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わない。
 - (4) 空手着は、白色のものを着用し、左胸に当該学校名を明記する。女子の下着は白色の無地のTシャツとするが、ワンポイント・校名入りは認める。
 - (5) 組手競技では、男女ともニューメンホーⅣ、Ⅴ、Ⅵ、ボディプロテクター、拳サポーター、(赤、青)を着用し、男子は更にセーフティカップを着用する。シンガードは義務ではないが、団体組手の着用はチームで統一すること。
 - (6) 拳サポーター、ボディプロテクター、シンガード、インステップガードは全国高体連または全空連指定、ニューメンフォーは全空連指定のものとする。
 - (7) めがねの使用は形・組手ともに禁止する。但し、ソフトコンタクトレンズは各自の責任において使用できる。
 - (8) 染髪、パーマ、長髪、髭、化粧、アクセサリーの着用等は禁止する。
 - (9) その他の注意事項は、空手道専門部の示す申し合わせ事項に準ずる。
※上記(4)～(9)に違反した場合は1分間ルールを適用する。
 - (10) 大会初日、全ての参加校の空手道部員は、8:00までに会場に集合し、全員でマット設置に当たること。
 - (11) 外部指導者は高体連外部指導者登録証を持参し、明示すること。
 - (12) 全日本空手道連盟登録費10,000円を納入すること。